



か め が お か せ っ き じ だ い

# 亀ヶ岡石器時代遺跡

つがる市 約3,000～2,300年前  
史跡指定／1944年



しゃこちゃん広場

## 有名な遮光器土偶の出土地

美しい土器や土偶が数多く出土した遺跡です。遺跡中央の台地上に住居跡や墓域があり、その南北にある低湿地から遺物が多数出土しています。中でも、1887年に出土した大型の遮光器土偶は有名で、その造形は海外でも高く評価されています。ほかにも漆塗りの土器や、らん胎漆器と呼ばれる植物性のカゴ、ヒスイ製の勾玉なども多数出土しています。



色鮮やかな彩文鉢形土器



遮光器土偶(複製)



大型の遮光器土偶は、その名の由来となった土偶です。大きな目の表現が雪のまぶしさをさけるための遮光器(サングラス)に似ていることから名づけられました。



土器や土偶に塗られた  
赤漆の原料は何？



生漆にベンガラや水銀朱を混ぜると赤漆になります。亀ヶ岡の人々は、砕くとベンガラになる赤い石を粉にして漆に混ぜ、土器などに塗っていたと考えられています。ベンガラは津軽半島の今別周辺で採取することができます。



亀ヶ岡式土器の特徴は？



亀ヶ岡式土器は、粗製土器と精製土器に大別されます。粗製土器は主に煮炊き用、精製土器は装飾的な文様や赤漆が施されることが多く、マツリに使われたと考えられています。



精製土器

関連展示施設

## つがる市縄文住居 展示資料館カルコ



亀ヶ岡遺跡を中心に、つがる市内の遺跡の出土品を多数展示しています。復元たて穴住居など縄文の暮らしを再現したコーナーでは、古代の言葉を語りかける人形が出迎えてくれます。

ここに  
注目!

遮光器土偶の複製のほか、造形と美しい模様が特徴の注口土器や壺型土器など、当時の高い技術をうかがわせる出土品を見ることができます。

開館日時 9時～16時 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始休館  
入館料 大人200円ほか  
住所 つがる市木造若緑59-1  
電話 0173-42-6490



【遺跡に関するお問い合わせ】  
つがる市教育委員会社会教育文化課  
TEL 0173-49-1194